

企業大学訪問はこの研修会の日程の中で最も充実し、最もためになった活動だった。私達の班は『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』を見学させていただいた。

私達の班は薬剤師等、薬に関わる職業に就くことを志しているメンバーで構成されていた。そのため、薬関係の仕事をしている会社をぜひ訪問させていただきたいと考えていたのだ。『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』を訪問先として希望した理由は2つある。

1つ目の理由は、製薬業に関心を持つ人が多くいたからだ。薬関係の職業を事前学習として調べているうちに、全員が職種の多さに驚かされた。想像の何倍もこえる職種の多さに、どの仕事を選択するべきか決める際にはとても困惑した。しかし何度も事前学習を重ねることで、製薬業という仕事を見てみたいという意見にまとまった。全員が薬ができるまでの工程に興味を持ったからだ。

2つ目の理由は、先生が私達の班に『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』を紹介してくださったからだ。製薬業に焦点を絞ったものの、製薬会社は多く、私達だけでは判断しようがなかった。そこで、先生方に相談した結果、『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』は良い所です。ぜひ行って欲しいです。」と返答されたのだ。先生が絶賛する製薬会社なのだからきっと素晴らしい会社なのだろうと考え、私達の班は迷わず『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』を訪問先として志望することに決めた。

こうしてアポイントメントをとるための準備が始まった。全員が一丸となり様々なシチュエーションに対応するための策を練った。最終的には班長が実際に電話をかけ、アポイントメントを取った。無事に見学許可が降りたという報告を受けた時は本当に嬉しかった。それと同時に、しっかりとした態度で臨んで無駄な時間にならないようにしようと決意し、気を引き締めることができた。

見学許可が出てまもなく、その会社で働く方々への質問を作り始めた。希望通り製薬会社を訪問することが決まったので、質問事項はスラスラ出てきた。できた質問は30個を越え、与えられた時間を余裕で越してしまうであろう量となってしまった。そこで、質問を絞る作業に移った。似たような内容の質問は1つにまとめ、ホームページを読めばわかることについての質問は捨てるなど、様々な工夫をして減らした。それでも質問の量は多かったため、全員で真剣に話し合った後、質問することを最終的に決定した。どの質問も興味深く、内容の濃いものだったため、絞ることは本当に難しかった。

また、交通手段も調べた。出発地点からかなり遠い場所に位置するため、様々な交通機関を利用する必要があり、綿密に行き帰りの道を計画しておく必要があった。時間も考えてしっかりと計画を立てた。

そして迎えた当日。期待に胸を膨らませる一方、体が硬直するほど緊張していた。失礼のないように服装もきちんとしたものにしたため、余計緊張感が強まったのだ。正しい言葉遣いができるか、適切な態度で臨めるか、など様々な不安を抱えながら私達の班は『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』へ向かった。

順調に目的地へ向かい、計画通り進んでいたため少し気が楽になった。しかし、乗っていた電車から次の電車への乗り換えで失敗してしまった。さらに、その1つのズレのせいでその次のバスにも間に合わなかった。なぜなら、綿密に予定を立て過ぎていたからだ。余裕をもって計画を立てることの大切さを学んだ。乗る予定だったバスの次が来るのが見学開始時刻の後だったので、仕方なく走って企業まで行った。

結果として、見学開始時刻に間に合わず遅刻してしまったため、反省している。『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の方々には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいだった。本来であれば私達は説教を受けるべき立場のはずだが、会社の方々はとても優しくむしろ走ってきた私達を褒め、歓迎してくれた。私は、遅刻してしまったことに対する申し訳なさとその優しさに感動して涙が出そうになった。

開始時刻が遅れてしまったが、少しずつ予定時刻をずらしていただき見学は始まった。

まず初めに、『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の概況説明を聞いた。これがとても興味深い内容の話ばかりで、全く飽きる気がしなかった。薬ができるまでの過程や、主な薬の種類、薬の過去や未来、など様々な話を聞いて、改めて製薬業の奥深さや大変さ、おもしろさに気づけた。こちらの質問にもしっかりと対応してくれたため、私達にとってより一層中身の濃い時間になった。もっと長い時間会社の方々の話を聞いていたかったが、時間の都合で次の活動へと移った。

次に私達は、所内見学をさせていただいた。『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の敷地面積はとても広く、S棟とR棟、大きく2つに分けられる。どちらの棟も作りは同じだが、私達は研究室のある棟を見学させていただいた。研究室には、私達には到底理解できないような機械が山ほどあり、見るもの全てが新しい世界のような感じだった。また、研究員の皆様も難しそうな研究をしていた。この所内見学を通して職場の雰囲気や、『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』ならではの取り組みの意味、地域との関わりの大切さを学ぶことができた。

そして最後に、研究員の方への質問をさせていただいた。ここでは、私達班員が事前学習で作った質問に答えていただいた。私達の質問に対し、研究員の方々は真剣に回答をしっかりと考えてくださり、丁寧に答えてくれた。私達が絞りに絞った質問はそれでも時間に見合う多さではなかったようで、できるだけスムーズに質問を続けたが予定時間をオーバーしてしまった。しかしオーバーした結果、研究員の方が全ての質問に答えてくださったおかげでとてもためになることを沢山知ることができた。この研究員の方への質問を終え、無事に企業訪問の全ての活動は終了した。

最後まで優しく私達に付き添ってくださった会社の方々には言葉で表せないほどの感謝を伝えたいと思う。『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の見学全体を通して、とても時間が短く感じられた。一つひとつの活動が私にとって大切なことを教えてくれたように思える。私達にとって充実した貴重な時間を送れたのは、全て丁寧に準備をしてくださった『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の方々のおかげだ。

今回の研修を通して積んだ貴重な経験は今後の進路学習に活かしていきたい。今後の人生を決める際に必要になる良い判断材料のひとつとして大切にしていきたいと思う。この見学で学んだことを糧に、これからの進路学習に励んでいきたい。そして、私自身のよりよい未来に繋げるためのバネにしたい。最終的には、将来の夢である「社会貢献をして、社会にとって必要な人材となる」ことを実現したいと思う。

最後に、私達の活動に協力してくださった『協和発酵キリン株式会社東京リサーチパーク』の方々に感謝の



気持ちを申し上げます。多忙の中、私達の見学のために貴重な1時間を使ってください、本当にありがとうございました。優しく接してくださったおかげで、楽しく学ぶことができました。全ての活動の内容が濃く、私達にとってかなり有意義な1時間となりました。おかげさまで、充実した活動をすることができました。心から感謝します。ありがとうございました。